

第1章 基本構想策定にあたって

本章では、構想策定の趣旨、尾張国分寺跡の国による史跡指定から本構想策定にいたる経緯、構想策定に向けての組織とその会議経過について記述する。

第1節 構想策定の趣旨

愛知県稲沢市は、県の西部、濃尾平野のほぼ中央に位置し、木曾川の複数の分流によって土砂が堆積した沖積層の上に立地し、肥沃な土壌を有し農業生産に適した条件を備えている。市の中央部にある尾張国分寺跡は、同じく市内にある尾張国分尼寺跡、尾張国府跡及び尾張国（おわりのくに）の総社とされた尾張大国霊神社（以下、「国府宮」という。）とともに、この地が奈良時代には尾張国の政治・文化の中心を担っていたことを物語っている。

平成24年1月24日、尾張国分寺跡の主要伽藍部分を中心とした25,321.12㎡の範囲が、国史跡の指定を受けた。

国分寺は、天平13年(741)に仏教を厚く信仰していた聖武天皇が、仏教の鎮護国家の思想により政治や社会の不安を鎮めようと、全国60余か所に国分尼寺とともに建立を命じたとされる古代寺院であり、尾張国分寺もその一つであった。

尾張国分寺跡は、長らく土の下に眠っていたが、昭和36年から発掘調査が行われ、金堂、塔、講堂、回廊等の遺構が確認されている。今回の国史跡指定は、この貴重な文化財である尾張国分寺跡を現代に覚醒させるものであり、市は、この地が「古代尾張国の中心」であった歴史を再認識し、地域文化発展への歩み始める序章とすべく整備を始めることとなった。

もとより文化財は、地域文化の基礎となるものであり、大切な資産を次の世代へ継承していくためには、確実な保存と併せ、地域の人たちが親しみ、利用できるように整備し、地域振興に活用していくことが重要である。市では、尾張国分寺跡の国史跡指定を契機に、これを文化的な中心としてまちづくりに活用していくこととし、ここに、その理念と方向を示す「尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想」を策定するものである。

尾張国分寺跡の周辺は、植木の日本4大産地の一つともいわれる植木・苗木産業の中心地でもある。構想では、この産業と文化財のコラボレーションも含めた特色ある整備・活用を目指し、市民協働の保存活動のほか、出土品等の保存・展示、学習活動等の拠点ともなるガイダンス施設機能を含めた（仮称）尾張国歴史館や、地場産業振興拠点の役割を包含した（仮称）ふれあい広場の整備なども盛り込んでいる。

構想範囲は、尾張国分寺跡指定地を中心とし、尾張国府跡や国府宮を含め、市内全域の文化資源を活用できる地域とする。

今後、市では、この構想のもと、市民と一体となり、地域の歴史文化を再認識し、「古代尾張国の中心」の誇りを持って整備することによって、文化性豊かなまちづくりを目指していくものである。

第2節 構想策定に係る経緯

尾張国分寺跡の国による史跡指定から本構想策定にいたる経緯は以下のとおりである。

1 史跡指定に関する具申（平成23年7月29日）

国による史跡指定に際し、市から文部科学大臣に対して指定内容に関して具申を行った。その要旨は以下のとおりである。

- (1) 指定対象の名称 : 尾張国分寺跡
- (2) 指定対象の所在地 : 愛知県稲沢市矢合町中椎ノ木 534 番地外 96 筆等
- (3) 指定対象地域の面積 : 25,321.12 m²
- (4) 所有関係の概要 : 稲沢市有地 1,031.60 m²、民有地 (44 名) 24,289.52 m²
- (5) 指定対象の現状及び現在までの調査・保存の経緯
 - ① 遺跡の位置と歴史的環境
 - ② 調査の概要と成果
- (6) 指定対象の将来にわたる保護の計画
- (7) 指定対象地域についての他の法令による規制・開発（又はその計画）の状況
- (8) 添付資料

2 史跡指定に関する答申（平成23年11月18日）

文化審議会は、同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に答申した。答申された史跡指定の詳細は以下のとおりである。

文化庁 史跡等の指定等について

尾張国分寺跡は、愛知県西部、稲沢市矢合町に所在し、三宅川左岸の標高 3.0～3.8 mの自然堤防上に立地する古代寺院跡である。

14 次に及ぶ発掘調査の結果、金堂、塔、講堂、回廊などの遺構が確認され、金堂、講堂、南門が一直線に並び、塔を回廊の東側に置く伽藍配置を採ることなど、伽藍中枢部の規模がほぼ判明した。

『続日本紀』によると、尾張国分寺は天平勝宝元年(749)には、少なくとも着工されており、宝亀6年(775)には、暴風雨により罹災、『日本紀略』元慶8年(884)に火災により焼損したことを受けて、愛智郡定額寺願興寺を国分金光明寺とするという勅令が出されている。

尾張国分寺跡は伽藍中枢部及び寺域の範囲が判明し、特に金堂・塔などの遺構の残存状況は良好である。また、『続日本紀』などの史料の記載と発掘調査の成果が合致するなど、その変遷を考古学・文献史学の双方から知ることができる。国分寺造営の実態や、古代尾張国の政治情勢を示す上でも貴重である。

3 官報告示（平成24年1月24日）

官報による尾張国分寺跡の史跡指定の告示内容の要旨は以下のとおりである。

- (1) 名称 尾張国分寺跡
- (2) 区分 史跡

(3) 所在地及び地域

愛知県稲沢市矢合町中椎ノ木

534 番、535 番、536 番、537 番、538 番・539 番合併、538 番・539 番 1 合併、540 番、541 番、542 番、543 番、544 番、545 番、546 番、547 番、548 番、549 番、550 番、551 番、552 番、553 番、554 番、555 番、556 番、556 番 1、557 番、558 番、559 番、560 番、561 番、562 番、563 番、564 番、565 番、576 番、578 番、579 番、580 番、581 番、582 番、583 番、584 番、585 番、586 番、613 番、614 番、615 番・617 番合併、616 番、618 番、619 番、620 番、621 番、622 番、629 番、630 番

愛知県稲沢市矢合町椎ノ木

631 番、642 番、643 番、644 番、645 番、646 番、647 番、648 番、649 番、650 番、651 番 1、651 番 2、651 番 3、651 番 4、652 番 1、652 番 2、653 番、654 番、655 番、656 番・657 番・658 番合併、659 番、660 番、661 番、665 番、666 番、667 番、668 番、682 番、683 番、685 番、686 番、688 番、689 番、690 番、692 番、693 番、694 番、695 番、696 番・697 番合併、698 番、699 番、700 番、701 番

上の地域に介在する道路敷、愛知県稲沢市矢合町椎ノ木 682 番に東接する道路敷と同 702 番に挟まれ同 698 番と同 696 番・697 番合併に挟まれるまでの道路敷、愛知県稲沢市矢合町中椎ノ木 616 番と同 630 番に挟まれ同 613 番と同 623 番に挟まれるまでの道路敷、愛知県稲沢市矢合町椎ノ木 681 番と同 682 番に挟まれ同 683 番と同 684 番 2 に挟まれるまでの道路敷を含む。

4 構想策定に向けての組織とその会議経過（図 1、写真 1・2、表 1、資料編 V）

平成 22 年 2 月に、国の史跡指定を目指し、稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会、その下部組織として専門部会が発足した。また、行政内には庁内連絡会議を設置した。平成 24 年 1 月の国の史跡指定後、構想策定に向けて、具体的な検討を重ねてきた。

(1) 稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会

委員会は、史跡の保存整備等に関して専門的知識又は技術を有する者、稲沢市文化財保護審議会委員、地元代表者、市職員などからなる委員の 20 人で組織している。

(2) 専門部会

尾張国分寺跡の保存整備等の計画策定に関して専門的な事項を協議するもので、部会員は稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会委員のうちから委員長が指名した 6 人で組織している。

(3) 庁内連絡会議

庁内の関係各課と緊密な連携や調整を図るため、庁内関係課として、企画政策課・商工観光課・農務課・都市計画課・用地管理課により組織している。

(4) 懇話会

市が設置した、文化財の調査研究をする文化財保護審議会、市史資料の研究をする市史編さん委員会及び市の文化財に詳しく関心のあるふるさとガイドの会との懇話会を開催した。(資料編 IV)

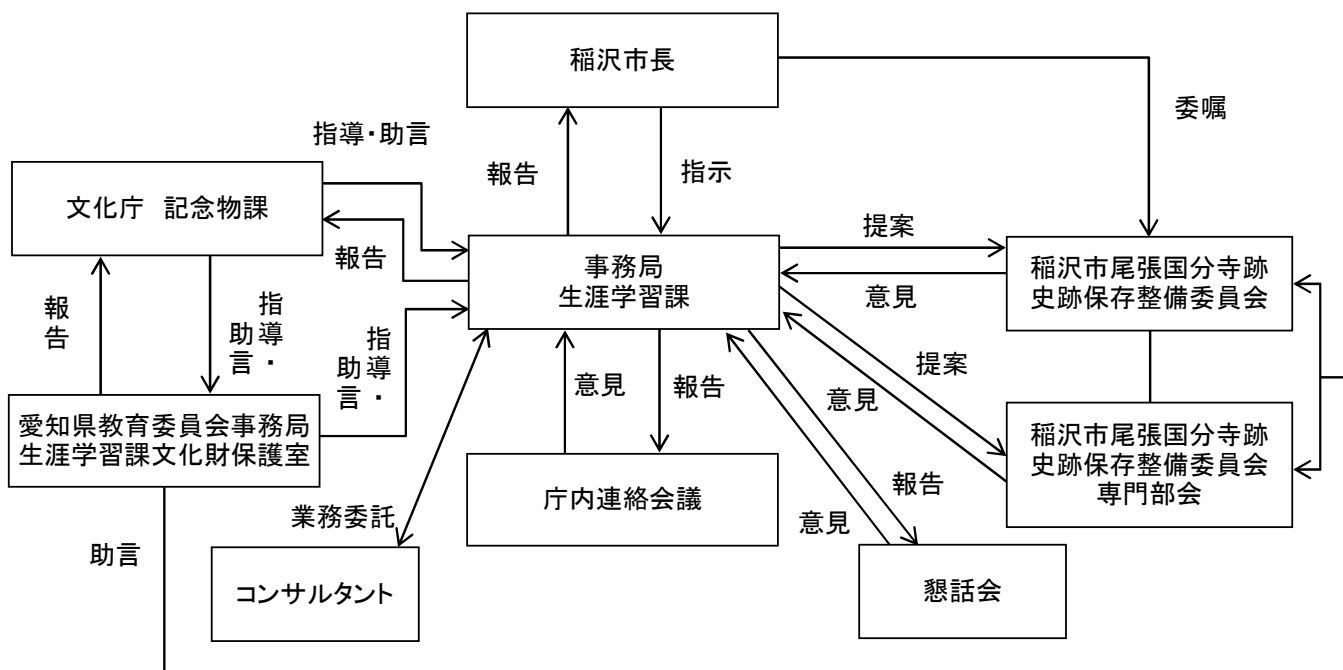


図1 構想策定の組織



写真1 史跡保存整備委員会の様子



写真2 専門部会の様子

表1 委員会等の開催

開催日	会議名	協議事項
平成22年		
2月19日	第1回委員会	1 尾張国分寺跡の発掘調査結果と保存に関するこれまでの経過について 2 現状での課題と史跡指定の予定スケジュールについて 3 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想の骨子(案)について
9月17日	第1回専門部会	1 尾張国分寺跡史跡指定にかかる経緯経過について 2 尾張国分寺跡保存整備基本計画の策定について
平成23年		
2月18日	第2回委員会	1 第1回委員会以降の経過と第14次発掘調査の成果について 2 史跡指定に向けてのスケジュールについて
5月16日	第1回庁内連絡会議	1 これまでの経緯経過と史跡指定に向けてのスケジュールについて 2 史跡指定にかかる問題点について
6月3日	第2回専門部会	1 尾張国分寺跡史跡指定にかかる経緯経過について 2 尾張国分寺跡史跡指定具申について 3 尾張国分寺跡発掘調査総括報告書について
9月7日	第3回専門部会	1 尾張国分寺跡史跡指定の具申にかかる経緯経過について 2 今後のスケジュールと課題について
9月13日	第2回庁内連絡会議	1 史跡指定の具申に係る経緯経過について 2 今後のスケジュールと課題について
平成24年		
2月24日	第3回委員会	1 第2回委員会以降の経過と国史跡指定の経過について 2 第15次発掘調査の成果について
3月21日	第3回庁内連絡会議	1 史跡指定にかかる経緯経過について 2 今後のスケジュールと課題について
4月27日	第4回専門部会	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想の策定について
10月5日	第5回専門部会	1 市民アンケート調査票について 2 国分寺跡などの整備事例について 3 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
10月11日	第4回庁内連絡会議	1 国分寺跡などの整備事例について 2 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
12月14日	第6回専門部会	1 スケジュール・進め方について 2 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想構成案について 3 現状分析について 4 国分寺跡などの整備事例について
平成25年		
1月16日	第5回庁内連絡会議	1 スケジュール・進め方について 2 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想構成案について 3 現状分析について 4 国分寺跡などの整備事例について
2月1日	第4回委員会	1 これまでの経緯経過について 2 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想構成案について 3 スケジュール・進め方について
5月17日	第7回専門部会	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想中間報告書について 2 懇話会実施方法について

開催日	会議名	協議事項
5月29日	第6回庁内連絡会議	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想中間報告書について 2 懇話会実施方法について
6月15日	懇話会	ふるさとガイドの会 1 経過と今後の予定について 2 意見交換
6月24日	懇話会	文化財保護審議会と市史編さん委員会の合同会 1 経過と今後の予定について 2 意見交換
7月19日	第8回専門部会	1 懇話会の結果について 2 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
7月25日	第7回庁内連絡会議	1 懇話会の結果について 2 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
9月20日	第9回専門部会	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
9月26日	第8回庁内連絡会議	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
11月28日	第9回庁内連絡会議	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
11月29日	第10回専門部会	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
平成26年		
1月16日 ～1月27日	パブリックコメント	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
1月31日	第5回委員会	1 これまでの経緯経過について 2 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について
2月3日	第10回庁内連絡会議	1 尾張国分寺跡史跡保存整備基本構想について